

ツアー番号
LKR7DE9KTJ

コロンボからのヌワラエリヤ（2日間）

2日間・1泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このツアーは、コロンボからスリランカの中央高地へと向かう2日間のツアーで、専属のシャフェール兼ガイドと共に移動します。ルートはキャンディの仏歯寺廟と稼働中の紅茶工場を経由し、イギリス人から『小さなイングランド』として知られている高地の町ヌワラエリヤへと上ります。2日目はホートンプレインズ国立公園を中心に据えており、草原、雲霧林、そして世界の終わりの絶壁を見学してからコロンボへの帰路につきます。

旅行者は、文化、紅茶の遺産、高地の風景が混在する中央高地の コンパクトな紹介を受けられます。立ち寄り地点は、宗教的なランドマーク、紅茶プランテーション、国立公園のトレッキングを短期間でカバーするために選ばれています。

ツアー全体がプライベートで、1日あたり1人につき500ml のウォーターボトル2本が含まれています。ホテルの宿泊、食事、施設の入場料は別途手配され、含まれていません。旅行者の最低年齢は12歳です。

日程詳細

1日目　コロンボ → キャンディ → ヌワラエリヤ

コロンボを出発し、キャンディを経由して、茶畑が広がるヌワラエリヤの高原地帯へと上っていきます。この日はヌワラエリヤで一泊します。



仏歯寺

キャンディにあるこのユネスコ世界遺産は、16世紀に仏陀の聖なる歯を安置し守るために建てられました。回廊や堂内は赤、クリーム色、黒で華やかに彩色され、彫刻の施された柱や黄金の仏像が配されています。

A.Savin · FAL

紅茶工場

実際に稼働している紅茶工場と茶園を訪れ、セイロンティーがどのように作られるかを見学します。スリランカで最初に茶が植えられたのは1824年、ペラデニヤの王立植物園でした。その後、1852年からイギリス人移住者ジェームズ・テイラーがキャンディのルーレコンデラ農園で栽培を始め、商業栽培が本格化しました。

2日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → コロンボ

2日目はホートンプレインズで過ごし、その後コロンボへと下っていきます。



ホートンプレインズ国立公園

公園内に広がる高原の草地と雲霧林を進むと、島内を一望できる断崖「ワールズエンド」や、ベイカーズ滝にたどり着きます。この高原には固有種の動物たちが生息し、考古学的に興味深い遺跡も点在しています。トレッキングを終えたら、いったんホテルに戻ってチェックアウトし、コロンボへと向かいます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.